

## ウソ (学名: *Pyrrhula pyrrhula*) [スズメ目アトリ科]

(写真・文 太田祥作)



▲ 亜種アカウソの成鳥雄 / 腹面は赤味がかり、外側尾羽に白色の軸斑あり。ソメイヨシノの冬芽を採食していた

▲ 亜種ウソの成鳥雄 / 腹面は灰色で、外側尾羽は一律に黒い

ウソは、丸みを帯びた体形と赤い頬が愛らしいアトリ科の小鳥です。その名前は、語感から「嘘」と誤解されがちですが、実際は口笛を意味する古語「嘯く<sup>うそ</sup>」が由来で、確かに「フイー、フイー」という鳴き声には口笛を連想させるものがあります。鳴き声を口笛で真似ると、そばまで寄って来るとも言われています。

幼鳥や雌は灰褐色と黒色のツートンカラーですが、雄は頬から喉にかけて赤色を呈し、他の小鳥にはない独特の雰囲気があります。

ウソには複数の亜種が知られており、只見町では夏季に山の比較的高地で繁殖していると思われる亜種ウソと、夏季はウスリーやサハリンで繁殖し、冬季に日本国内へ飛来する亜種アカウソの2亜種が確認されています。これらの亜種の識別は難しく、傾向的な違いとしては、上の写真のように雄の腹面が赤みを帯びるのが亜種アカウソ、一律に灰色なのが亜種ウソであるとされています。また、外側尾羽に白い軸斑があるのは亜種アカウソの特徴です。

ウソはサクラ類、中でもソメイヨシノの冬芽を好んで採食することが知られています。そういった様子は上の写真のように、町内の集落付近でも見られます。春を控えたこの季節、サクラの蕾の膨らみ具合に目を向けるときには、ウソの存在も気にしてみると観察できるかもしれません。

### 只見町ブナセンターからのお知らせ

・只見町ブナセンター附属施設「ただみ・ブナと川のミュージアム」では下記企画展を開催中です。お誘いあわせの上ぜひご来館ください。

企画展アーカイブ「只見の天然資源とその利用～冬の暮らしと手仕事編～」

会期：2020年12月19日(土)～2021年3月29日(月)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

・2020年12月13日にライブ配信したブナセンター講座「大型哺乳類の生態」を再編し、YouTubeチャンネルにて公開しました。QRコードからサイトにアクセスできます



只見町ブナセンター  
YouTubeチャンネル